

第123期 中間報告書

(2024年 4 月 1 日から
2024年 9 月30日まで)



日本ギア工業株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

当社第123期上半期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の会社の現況に関する事項等につきまして、次のとおりご報告申し上げます。

2024年12月

代表取締役社長 寺田 治夫

1. 会社の現況に関する事項 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)

(1) 事業の経過及びその成果

当上半期におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景とする設備投資の持ち直しや、賃上げに伴う雇用・所得環境に改善の動きが見られるなど、景気は緩やかに回復しました。一方で、不安定な世界情勢の中、長期化する原材料・エネルギー価格の高騰や欧米における高い金利水準の継続に伴う影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当上半期の受注高は、49億59百万円（前年同期比5.9%減）、売上高は、42億41百万円（前年同期比1.9%増）、受注残高は、52億81百万円（前事業年度末比15.7%増）となりました。

損益面につきましては、売上原価が24億7百万円（前年同期比6.2%増）、販売費及び一般管理費は退職給付の数理計算上の差異として1億27百万円の戻り益を計上したことにより、9億43百万円（前年同期比13.7%減）となりました。これにより、営業利益は8億90百万円（前年同期比10.9%増）、経常利益は9億19百万円（前年同期比11.8%増）、中間純利益は6億25百万円（前年同期比14.5%増）となりました。中間配当につきましては今後の見通し、その他諸般の事情を慎重に検討いたしました結果、1株につき4円とさせていただきます。なにとぞご賢察の上、ご了承を賜わりますようお願い申し上げます。

事業別の状況

事業別の受注高及び売上高は次のとおりであります。

単位：百万円（未満切捨）

事業	受注高			売上高		
	金額	構成比 (%)	前年同期比増減 (%)	金額	構成比 (%)	前年同期比増減 (%)
歯車及び歯車装置事業	3,542	71.4	△10.4	3,227	76.1	3.2
歯車装置	3,333	67.2	△7.9	2,936	69.2	4.3
歯車	208	4.2	△37.7	291	6.9	△6.8
工事業	1,416	28.6	7.5	1,014	23.9	△2.1
合計	4,959	100.0	△5.9	4,241	100.0	1.9

【歯車及び歯車装置事業】

歯車及び歯車装置事業では、バルブ・アクチュエータの受注高は火力発電所、原子力発電所向けが減少したことにより、前年同期比7.7%減少いたしました。売上高は石油・ガス向け、鉄道船舶用が増加したことにより、前年同期比1.3%増加いたしました。ジャッキにつきましては、受注高は自動車用、半導体・液晶向けが減少したことにより、前年同期比22.1%減少いたしました。売上高は半導体・液晶向け、産業機械用が減少したことにより、前年同期比7.0%減少いたしました。その他増減速機につきましては、受注高は化学、上下水道向けが増加したことにより、前年同期比2.6%増加いたしました。売上高は化学、産業機械用が増加したことにより、前年同期比33.4%増加いたしました。

歯車の受注高は特殊車用、産業機械用が減少したことにより、前年同期比37.7%減少いたしました。売上高につきましても特殊車用、産業機械用が減少したことにより、前年同期比6.8%減少いたしました。

【工事業】

受注高は原子力発電所、石油・ガス向けが増加したことにより、前年同期比7.5%増加いたしました。売上高は火力発電所、上下水道向けが減少したことにより、前年同期比2.1%減少いたしました。

当下半期の見通しにつきましては、世界情勢の緊迫化や円安の急激な進行により先行きを見通すことは困難な状況にあります。

当社の事業を取り巻く環境は、国内での原子力発電所は再稼働の期待が見られる一方で、火力発電所も含めて定期検査工事には時間が掛かると思われ、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況の中で、当社の基本方針である「他社との競争に打ち勝ち、着実な成長をする企業を目指す」をスローガンに顧客満足と収益の向上に努め、引き続き海外顧客の開拓に取り組んでまいります。

事業内容に関しましては、歯車及び歯車装置事業のうち、バルブ・アクチュエータにつきましては、新製品の開発、電子式アクチュエータの販売強化、海外市場への販売を推し進めてまいります。ジャッキにつきましては、半導体市場への拡販及び機能特化型ジャッキの検討を進めてまいります。その他の増減速機につきましては、新たな市場への参入及び得意先への拡販を推し進めてまいります。歯車につきましては、引き続き大型歯車加工機による大型高精度歯車顧客への受注や、新規に設備投資する工作機械を使用し大型歯車の受注開始に注力してまいります。工事業では、発電所や上下水道の受注拡大を中心に推し進めてまいります。

当社はこうした見通しを踏まえ、当社の行動指針である「自ら考え自ら行動する」「最高品質を提供する」「社会的利益を生み出す」を念頭に置き、2024年度の事業目標を売上高93億円（前事業年度比3.2%減）、経常利益16億70百万円（前事業年度比22.4%減）とし、この目標の達成を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

(2) 財産及び損益の状況

区 分	当 上 半 期 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)	前 上 半 期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	前 期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)
受 注 高 (百万円)	4,959	5,271	9,408
売 上 高 (百万円)	4,241	4,164	9,622
経 常 利 益 (百万円)	919	822	2,151
中間(当期)純利益 (百万円)	625	545	1,539
1株当たり中間(当期)純利益(円)	43.91	38.35	108.13
純 資 産 (百万円)	11,648	10,040	11,096
総 資 産 (百万円)	14,403	13,201	14,677

(3) 主要な営業所及び工場 (2024年9月30日現在)

区 分	名 称 (所 在 地)
本 社	本社(東京都港区西新橋1丁目7番14号)
工 場	藤沢工場(神奈川県藤沢市桐原町7番地)
営 業 所	札幌営業所(北海道札幌市)、名古屋営業所(愛知県名古屋市中区) 大阪営業所(大阪府吹田市)、広島営業所(広島県広島市) 福岡営業所(福岡県福岡市)
事 業 所	札幌事業所(北海道札幌市)、仙台事業所(宮城県仙台市) 福島事業所(福島県双葉郡楢葉町)、千葉事業所(千葉県八街市) 京浜事業所(東京都港区)、藤沢事業所(神奈川県藤沢市石川) 柏崎事業所(新潟県柏崎市)、名古屋事業所(愛知県名古屋市中区) 金沢事業所(石川県金沢市)、大阪事業所(大阪府吹田市) 若狭事業所(京都府舞鶴市)、広島事業所(広島県広島市) 福岡事業所(福岡県福岡市)

(4) 使用人の状況 (2024年9月30日現在)

使 用 人 数	前 期 末 比 増 減	平 均 年 齢	平 均 勤 続 年 数
282名	8名減	42.5歳	16.6年

(注) 上表にはパートタイマー及び嘱託社員63名は含んでおりません。

2. 会社の株式に関する事項（2024年9月30日現在）

- | | |
|--------------------|-------------|
| (1) 発行可能株式総数 | 57,000,000株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 14,280,000株 |
| (3) 株主数 | 10,220名 |
| (4) 大株主の状況（上位 10名） | |

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
株 式 会 社 成 和	5,633千株	39.57%
株 式 会 社 三 田 商 店	1,027	7.22
株 式 会 社 G M I N V E S T M E N T S	300	2.11
日 本 ギ ア 取 引 先 持 株 会	289	2.03
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	221	1.55
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	211	1.49
株 式 会 社 千 代 田 組	210	1.47
株 式 会 社 S B I 証 券	171	1.20
石 森 美 智 子	158	1.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	157	1.11

(注) 持株比率は自己株式（42,704株）を控除して計算しております。

3. 会社役員に関する事項（2024年9月30日現在）

代表取締役社長	寺 田 治 夫
取 締 役	林 秀 樹
取 締 役	鶴 見 肇
取 締 役	植 垣 淳 哉
取 締 役	香 川 明 久
取 締 役	沖 田 芳 樹
取 締 役	西 村 至
常 勤 監 査 役	森 脇 仁 子
監 査 役	三 田 義 之
監 査 役	宮 崎 武 信

- (注) 1. 取締役香川明久、沖田芳樹、西村至の3氏は、社外取締役であります。
2. 監査役森脇仁子、三田義之、宮崎武信の3氏は、社外監査役であります。
3. 当社は取締役香川明久、取締役沖田芳樹、取締役西村至の3氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

中間貸借対照表 (2024年9月30日現在)

単位：千円 (未満切捨)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	10,298,786	流動負債	2,095,763
現金及び預金	4,900,653	買掛金	384,652
受取手形、売掛金及び契約資産	1,778,921	電子記録債務	643,341
電子記録債権	1,178,832	1年内返済予定の長期借入金	111,812
商品及び製品	213,875	未払法人税等	323,071
仕掛品	505,038	契約負債	56,923
原材料及び貯蔵品	1,619,558	賞与引当金	203,994
その他	101,905	その他	371,967
固定資産	4,104,426	固定負債	658,951
有形固定資産	1,872,657	長期借入金	178,511
土地	1,013,291	退職給付引当金	1,100
その他	859,366	資産除去債務	167,315
無形固定資産	127,149	その他	312,024
投資その他の資産	2,104,618	負債合計	2,754,714
投資有価証券	983,452	(純資産の部)	
前払年金費用	1,049,301	株主資本	11,184,325
その他	76,190	資本金	1,388,800
貸倒引当金	△4,326	資本剰余金	844,542
		利益剰余金	8,966,722
		自己株式	△15,739
		評価・換算差額等	464,172
		その他有価証券評価差額金	464,172
		純資産合計	11,648,498
資産合計	14,403,212	負債純資産合計	14,403,212

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額

7,239,498千円

2. 自己株式の株式数は42,704株であります。

中間損益計算書 (2024年4月1日から
2024年9月30日まで)

単位：千円 (未満切捨)

科 目	金	額
売 上 高		4,241,942
売 上 原 価		2,407,548
売 上 総 利 益		1,834,394
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		943,653
営 業 利 益		890,741
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	16,275	
出 向 者 負 担 金	3,645	
受 取 補 償 金	7,052	
そ の 他 の 営 業 外 収 益	3,610	30,585
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	1,033	
支 払 手 数 料	750	
そ の 他 の 営 業 外 費 用	304	2,087
経 常 利 益		919,238
税 引 前 中 間 純 利 益		919,238
法 人 税 等		294,042
中 間 純 利 益		625,196

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 株式会社アイ・アール ジャパン
同 連 絡 先	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 株式会社アイ・アール ジャパン 証券代行業務部 電話 0120-975-960 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 当社ホームページ (https://www.nippon-gear.jp) に掲載いたします。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（株式会社アイ・アール ジャパン）ではお手続きできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する、証券口座への振替請求、住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（株式会社アイ・アール ジャパン）にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、上記株主名簿管理人（株式会社アイ・アール ジャパン）でお支払いいたします。